

第2回検討委員会摘録  
第2回京都会館再整備検討委員会

日 時 平成17年10月25日(火)午前10時～正午

場 所 京都会館 第1会議室

出席者(五十音順,敬称略)

今西勝	株式会社ナウエストワン代表取締役社長
田中宏美	市民公募委員
田坪良次(副会長)	大阪人間科学大学教授,京都市立芸術大学名誉教授
段塚崇子	市民公募委員
中原昭哉(会長)	元京都女子大学教授
細井康雄	社団法人京都音楽文化協会理事長
松隈洋	京都工芸繊維大学助教授
青柳敏雄	京都市都市計画局公共建築部長
水口重忠	京都市文化市民局文化部長

欠席者(五十音順,敬称略)

齊藤武夫	財団法人京都市音楽芸術文化振興財団専務理事
鈴置雄三	株式会社サウンドクリエイター代表取締役社長
ばんばひろふみ	歌手

配布資料

- ・ 次第
- ・ 資料1 京都会館再整備検討に係る参考事例
- ・ 資料2 京都会館来場者アンケート結果概要
- ・ 資料3 京都会館プロモーターアンケート結果概要

議 事

- 1 開会
- 2 事務局から当面のスケジュールを説明
- 3 委員会における論点について確認  
利用者の視点,興行者の視点,関西圏の同種施設等との比較の視点,京都市民の視点の4つの視点から検討を加えることを確認。

#### 4 京都会館に求められるニーズについての検討，意見交換

##### (1) 利用者の視点から

###### 【松隈委員】

- ・ 音響が悪いという意見があるが，これは今までになかった電子音響を用いた興行のやり方に対して，音場を作り出す機能が対応できていないということに過ぎないと思う。それは吸音方法の改良やインテリアの改修などでかなりの部分が改善できるはずだと思う。

###### 【段塚委員】

- ・ 各階にトイレがないのが不便。またトイレの絶対数が足りていない。高齢の方が多いので，エレベーターが北側奥にしかないのは使いづらい。また，トイレの中に微妙な段差があって，来客が転倒することがある。

###### 【細井委員】

- ・ 女性トイレが不足している問題については，建設当初から利用の状況が変化し，男性の利用者より女性の利用者が圧倒的に多くなってきたという事情があると思う。
- ・ 京都では2,000人規模のホールはここだけなので，市民にとって快適な施設，憩いの場所とするために，老朽化しているところについて，根本的に改善すべき部分と手直的に改善すべき部分を分けて検討すべきである。

###### 【松隈委員】

- ・ 老朽化の問題については，それを老朽化と見るのか，時間が経って施設が落ち着いてきたと見るのか，あるいはメンテナンスが十分でないとするのか，きれいな状態を望んでいるのか，色々な側面があり，一概には言えない。手の入れ方は非常に難しいので，慎重な検討が必要だと思う。

##### (2) 興行者の視点から

###### 【田坪副会長】

- ・ 最新設備のホールは別に建てることにして，京都会館はその古さと良さを利用して，状況を適宜，勘案しながらやっていくのもひとつの選択肢である。全部の催しに対応することは無理がある。

###### 【今西委員】

- ・ 興行者の立場から言えば，京都会館で舞台のセットが組めなければ，びわ湖ホールやフェスティバルホールへ行く。京都会館もびわ湖ホールと同じ舞台を組んで欲しいと思う。

###### 【細井委員】

- ・ アーティストから京都会館を眺めた場合，ツアーの機材を設置できないことによって，京都のために別プログラムを組むのは抵抗を感じる。
- ・ 私たちは京都会館ができたときから小ホールに魅力を感じていた。舞台機能がそろっている。ステージ自体には問題はないが，欲を言えば袖がないという泣き所がある。

###### 【松隈委員】

- ・ 全部の催しに対応することを考えること自体に無理があるのではないかと，との意見に賛成である。オペラなどは諦めれば，新しいニーズや使い方が考えられると思う。

## 第2回検討委員会摘録

- ・ 京都会館が街の風景に溶け込んで、しかも、市民に親しまれながら、いつも使われている状態を生み出す工夫を施すことが何よりも重要ではないかと思う。

### 【青柳委員】

- ・ 興行、音楽、文化ももちろん重要だ。しかし会議は経済波及効果が大きい。京都会館はにぎわい施設であるので、何かに特化するというのは難しい面がある。

### (3) 関西圏の同種施設等との比較の視点から

#### 【今西委員】

- ・ 京都会館と比較する対象施設について、興行者の立場ではステージの広さが気になるので、大阪の厚生年金会館、神戸のこくさいホールあたりとの比較が良いのではないか。